

# 環境会計

環境に配慮した事業活動を進めるためのコスト、効果を定量的に把握し、着実に環境負荷を低減させています。

## 環境保全コスト

企業活動にともなう環境負荷を低減させる設備機器への投資、環境対応商品の研究開発にともなう費用、環境情報の公開、地域活動への支援などの費用を環境保全コストとして集計、管理しています。2006年度は大阪事業所での環境整備に努めました。

(単位:百万円)

コスト分類	事業エリア内コスト 上・下流コスト	管理活動コスト	研究開発コスト	その他コスト	合計
活動の内容	公害防止 地球環境保全 資源循環 グリーン購入実績	EMSの整備・運用 環境情報の開示・広告 社員への環境教育	環境保全に関する 研究開発	土壌調査、浄化 環境保全活動の地域支援 など	
2002年度	31.3	9.6	0.3	4.3	45.6
2003年度	60.8	106.8	3.3	0.4	171.3
2004年度	55.0	24.9	10.7	0.9	91.6
2005年度	63.3	47.2	11.1	0.4	122.0
2006年度	57.9	101.2	7.8	18.3	185.2
合計	268.3	289.7	33.3	24.3	615.6

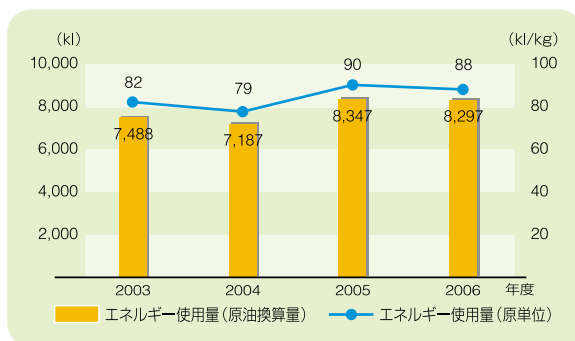
※2003年度は、コージェネレーションシステムを導入しました。

## 環境保全効果

エネルギー使用量は増加しましたが、産業廃棄物の発生量は減少しています。また、生産量1kg当たりのエネルギー使用量や産業廃棄物の発生量(原単位)も同じ傾向となっており、廃棄物削減に向けた取り組みの効果は着実に出てきています。

### ■ エネルギー使用量・原単位の推移

	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度
エネルギー使用量 (原油換算量) (kl)	7,488	7,187	8,347	8,297
原単位 kl/kg (生産量)	82	79	90	88



### ■ 産業廃棄物の発生量・原単位の推移

	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度
産業廃棄物発生量 (t)	3,608	3,531	3,763	3,390
原単位 kl/kg (生産量)	39	39	40	36

